叙位

故佐々木五一さん（寺田）に正六位

佐々木　五一さん（故人）

昭和34年に仁賀保町議会議員に初当選以来、昭和58年までの連続6期24年の永きにわたり在職し、昭和50年9月から4年間は議長を歴任。豊かな経験と政治手腕を発揮し、地方自治の発展に多大な貢献をした功績が評価され、正六位に叙せられました。

表彰

にかほ市教育委員会表彰

平成18年度から始まったこの表彰は、さまざまな文化活動やボランティア活動、社会体験活動などにおいて、顕著な功績があった小学生や中学生を表彰するものです。

平成19年度に表彰された児童・生徒は次のとおりです。（順不同）

表彰される小出小学校児童たち

飴屋　翔太さん（平沢小学校2年）
近藤　皓介さん（上郷小学校1年）
鈴木　信吾さん（仁賀保中学校1年）
（以上、秋田県児童生徒美術展　話題作受賞による表彰）
熊谷　里穂さん（平沢小学校5年）
高橋　南さん（金浦小学校1年）
（以上、全県席書大会　金賞受賞による表彰）
横山　瑞稀さん（院内小学校6年）
飯尾　朱莉さん（小出小学校6年）
（以上、社会を明るくする運動作文コンテスト優秀賞受賞による表彰）
関谷　まどかさん（象潟中学校3年）
（全国中学生人権作文コンテスト秋田県大会最優秀賞受賞による表彰）
小出小学校4年生（13名）
（わがまち新聞コンクール　団体賞受賞による表彰）

英語に親しみを

～ＡＬＴの先生たちと交流活動～

にかほ市国際交流協会の主催でＡＬＴ（外国語指導助手）たちとの交流活動が行われました。

３月16日は保育園・幼稚園の年長児の親子が英語でゲームや歌を楽しみ、20日には由利本荘市のＡＬＴを交えた「春のティー・パーティー」が行われ、中学生などが交流しました。

ＡＬＴたちのユニークな話術に、両会場とも笑顔があふれる中で、異文化の理解と英会話に親しむことができました。

えいごであそぼう
ＡＢＣ

春の
ティー・パーティー

開館10年目で50万人突破

～フェライト子ども科学館来館者50万人～

３月16日、開館10年目を迎えたフェライト子ども科学館で、来館者が50万人を達成した記念のセレモニーが行われました。

50万人目の記念すべき来館者は渡辺海都くん。（飯田川小学校４年・潟上市）セレモニーには少しびっくりした様子でしたが「来たのは４回目。今回はファンタジーシアターを楽しみにしています」と記念の折りたたみ式自転車を受け取りました。

同科学館では、実験教室など、科学の世界へ子どもたちを導く取り組みを今後も継続していきます。

50万人目の来館者となった渡辺海都くん（中）

平沢小学校が車いすを寄贈

３月13日、平沢小学校から老人ホーム「楽しいわが家」に缶のプルタブと交換した車いす１台が寄贈されました。贈呈式では、学校を代表して訪れた同校児童会６人が温かいメッセージを述べ、車いすを寄贈すると、入所している皆さんからは感謝とお礼の言葉が贈られました。

平沢小学校児童会の６人と入所者

本荘法人会　環境図書贈呈式

㈱本荘法人会青年部会による管内中学校への「環境文庫」図書寄贈事業10周年記念式典が３月19日、由利本荘市アクアパルで行われました。式典では、にかほ・由利本荘両市へ環境図書の目録が贈呈され、同時に両市から法人会へ10年間の寄贈活動に対しての感謝状が贈られました。

目録を受け取る三浦教育長（左）

北都銀行七星会が図書券の寄付

３月14日、北都銀行七星会から市内小学校へと、図書券10万円が寄付されました。

七星会は平成５年に発足した同行行員による団体で、善意の積立金から、福祉施設等への募金や交通安全旗の寄贈などを行っています。

市長に目録を手渡す
北都銀行の加賀谷象潟支店長（右）

第6回由利庄内オープン象潟ＧＯフェスティバル

３月１日、第６回目となる由利庄内オープン象潟ＧＯフェスティバル（囲碁）が開催され、県内外から参加した53名の棋士たちが熱戦を繰り広げました。

主な成績は次のとおりです。（敬称略）

▼Ａクラス
【優　勝】籾山　剛（由利本荘市）
【準優勝】工藤　正治（由利本荘市）
【第３位】土倉　和夫（由利本荘市）

▼Ｂクラス
【優　勝】京野　秀夫（秋田市）
【準優勝】阿部　実（中　橋町）
【第３位】橋川　孝（大　町）